

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課



# ボーリング柱状図

調査名 地質調査業務（機械ボーリング）

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 小 山 城 南 高 校 体 育 館 新 築 工 事

シートNo.

ボーリング名	No. 1 孔		調査位置	栃木県小山市小山2728			北緯	
発注機関	栃木県土木部建築課			調査期間	平成 1年 6月 7日～ 1年 6月 8日		東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	100.00m	角 度	180° 上 下 90°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤公配	水平
総掘進長	20.46m	試錐機	Y B M Y H - 1		ハンマー	ト ン ビ		
		エンジン	ヤ ン マ - 8 5 N		ポンプ	S P - 3 0		

標 尺 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験				原位置試験	採取	室内試験	掘進	
									深 度 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数	貫入量 (cm)					深 度 (m)
99.40	0.60	0.60	表土	暗黒灰	中位	軟らかい	含水比中位。腐植物混在。深度0.40m以深暗茶褐色。	6/9 1.40	1.15	1/15	1/17	2/32					
97.30	2.10	2.70	ローム	茶褐	軟らかい		含水比中位、腐植物、有機物混在。所々に軽石が混入する。深度2.40m以深粘性が増大する。	1.47	2.15	1/31	1/31						
96.20	1.10	3.80	凝灰質粘土	茶灰	軟らかい		含水比中位。多量の有機物混入。粘性高い。	2.46	3.15	0/35	0/35						
94.40	1.80	5.60	粘土混り中砂	暗青灰	緩い		含水比高位。淘汰不良の中砂を主体とする。雲母片を多量に含む。	3.50	4.15	1/12	1/9	3/31					
93.00	1.40	7.00	シルト	暗灰	中位～硬い		含水比中位。上部色調茶褐色を呈する。腐植物、有機物を多く混入。	4.46	5.15	1/11	1/11	3/31					
92.20	0.80	7.80	砂質シルト	暗灰	中位～硬い		含水比中位。所々にシルトの薄層を挟む。雲母等の鉱物粒子混在。	5.46	6.15	1/11	1/12	1/18	3/41				
89.10	3.10	10.90	中砂	暗青灰	密な～非常に密な		含水比中位。所々に、小礫を混入する。粗砂の薄層を挟む。	6.56	7.15	9/8	5/22	22/30					
87.40	1.70	12.60	砂質シルト	暗灰	硬い		含水比中位。半固結状を呈する。所々にシルトの薄層を挟む。雲母片が混入。	7.45	8.15	8/9	10/27	27/30					
86.60	0.80	13.40	中砂	暗灰	中ぐらいい		含水比高位。所々に粗砂が混入する。	8.45	9.15	11/15	16/42	42/30					
80.50	6.10	19.50	固結シルト	暗灰	中位～硬い		含水比中位。腐植物、有機物が含まれる。雲母片及び若干砂が混入する。深度15.50～16.70m固粘性中位。深度16.70～17.70m付近中砂・細砂の薄層が挟在する。所々に小礫混入する。	9.45	10.15	8/8	7/23	23/30					
79.54	0.96	20.46	砂質シルト	暗灰	中位		含水比中位。腐植物混入する。雲母片混じる。	10.45	11.15	9/10	11/30	30/30					

